

本トラックで議論したいことと 学認クラウドゲートウェイサービスの概要

2024年6月11日
NII学術情報基盤オープンフォーラム2024

国立情報学研究所
クラウド基盤研究開発センター／クラウド支援室
西村 健

- 次世代学認における、より強い認証に向けて
 - 本人確認の保証度(Identity Assurance Level: IAL)
 - IdPのIAL評価基準と認定手続きの確立
 - 認証強度(Authenticator Assurance Level: AAL)
 - 多要素認証の技術支援(導入・運用)
- 利用者は適切な保証度の認証で SP を利用できるようになるが、環境・状況は様々
 - SPが要求する保証レベル や IdPがサポートする保証レベル がIdP/SPにより様々
 - 多要素認証を行えるか、など



- ゲートウェイサービスにおいて、IdP/SPの状況に合わせて利用者を適切に誘導する
 - 例えば、所属機関がサポートしない高保証レベルを要求するサービスを表示しない、など

学認クラウドゲートウェイサービス ～大学・研究機関の認証基盤とクラウドの橋渡し～

- 一言でいえば、アクセス者が利用できるサービスを一覧にしたポータル
- 所属機関で利用可能なサービスが一覧できる
 - 機関毎のカスタマイズ（契約・連携しているサービスの指定/入力）
 - 個人毎のカスタマイズ（並び順の変更や個人利用サービスの追加）

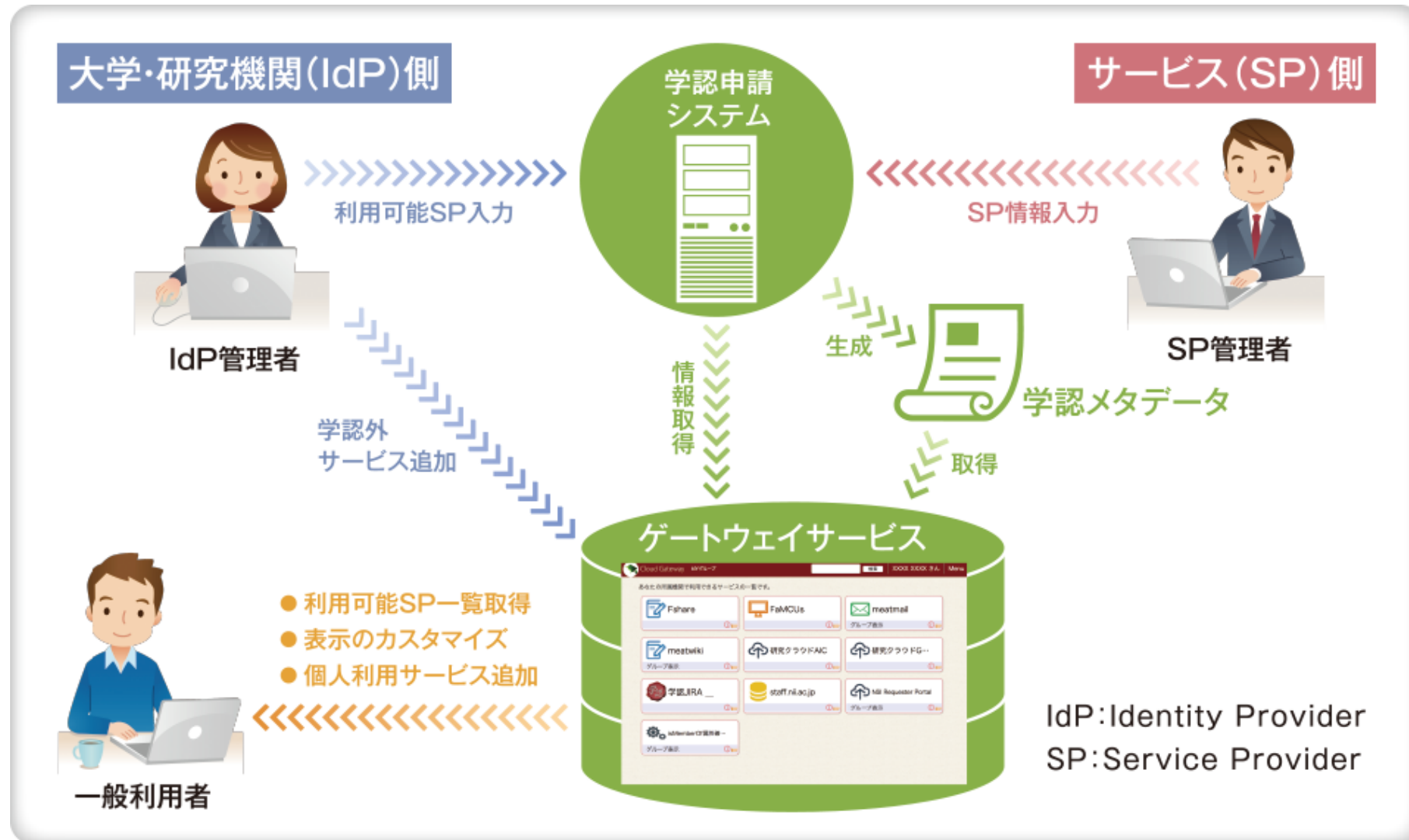


- 利用者は、ゲートウェイサービスを経由してe-Learningサイトやe-Journalサイトにアクセス



- ゲートウェイサービスに表示されているサービスは利用可能である
= 安心してアクセスできる
- ふらっと、あるサービス(e-Learning B)にアクセスして、
利用できなくて困る、ということがなくなる

ゲートウェイサービスの登場人物と役割



※学認 - 大学・研究機関の認証基盤と商用・非商用のオンラインサービスの間のSSOのための枠組み

各種ソースからの情報を統合表示



Gateway Service MYグループ

検索 西村健さん Menu

あなたの所属機関()で利用できるサービスの一覧です。

機関契約

- Elsevier: ScienceDir...
- Web of Science
- John Wiley & Sons ...

個人利用

- Gmail

グループ利用

- meatwiki
- グループ表示
- 次世代mAP
- 学認クラウド参加大学・研究機関
- NII クラウド支援室
- uApprove Jet Pack開発

- 「機関契約」「グループ利用」「個人利用」を統合して表示
- 個人がよく使うサービスを上部に配置することが可能
- この画面を起点として各種サービスにアクセスできる
- 他の利用者への案内(「ゲートウェイサービスから〇〇をクリックしてください」)が容易に

利用者の属性で分類し異なるサービスリストを提供 (機関内分類機能)

- 例えば、学生は利用するが教員は利用しないサービス（例:履修登録）、およびその逆のようなサービスへの対応
- 「〇〇向けポータル」のイメージ
- 利用者の分類（サブグループ）は、IdPからの属性を元に自動分類
 - 特定部局特有のサービスなど、部局毎メニューもカバーできる（）
- 定義した分類に合致しない場合は従来通り「大学全体」に登録されたサービスが表示される

